

ブランパンによるメティエダール 古代中国の威光を称える

世界最古の時計ブランドであるブランパンが、中国のこの上なく豊かな文化や歴史に着想を得た 4 つのメティエダールタイムピースを通じて、卓越性と創造性を昇華させます。古代中国の壮麗な美女をテーマとしたこれらのモデルは、ブランパンの技術力が可能とする手作業による装飾技術の多彩さを証明するものです。

古代中国の四大美女とは、春秋（紀元前 722 年～481 年）、三国（220 年～280 年）、前漢（紀元前 206 年～9 年）、そして唐（618 年～907 年）のそれぞれの時代に生きた女性たちです。この女性たちの持つ美は、ただそれだけで人々を驚嘆させるのに十分でしたが、それに加えこれらの女性たちはそれぞれの時代の支配者たちに影響を及ぼし、その結果として中国の歴史をも変えたとして、その名を後世にまで知らしめてきました。伝説によれば、4 人のうちの 3 人は王朝を弱体化させ、3 人すべてが神秘の死を遂げたといえます。

ブランパンは古代中国の象徴的な美女たちを、メゾンのアトリエで培われてきた芸術性豊かなメティエダールを通じて、文字盤上で解釈することにいたしました。ヴァレ・ド・ジュウ（ジュウ溪谷）の奥深くにあるル・ブラッシュでは、ブランパンの職人たちが、さまざまな伝統技を世代を超えて継承し、今日の時計作りに応用しています。“シャンルベ”エナメル、赤胴（シャクドー）、そしてエナメルによる絵付けなど、それぞれの技巧がこの特別シリーズの各モデルに採用され、エナメルによる絵は 4 つのモデルに共通して見られます。

西施（せいし）

中国四大美女で最初に登場する西施は春秋時代に生きた女性でした。山のふもとにある諸暨（現在の浙江省）の村で生まれた西施は、近くの川で洗濯をするのが習慣でした。その美しさに魅せられた魚は、どうやって泳ぐのかを忘れたほどだったとか。

このシーンを描くために、ブランパンの職人はグラン・フー“シャンルベ”エナメルに焦点を当てることにしました。さまざまな色と透明度を出すことができるこの技巧では、多彩な可能性と劇的な効果を創出することができます。ソリッドゴールドのモチーフは、文字盤の土台から丹念に彫り出され、その窪みにエナメルを満たして色彩豊かな装飾を作ります。筆で何度も重ねて塗られたエナメルは、グラン・フーと呼ばれる高温焼成で 800 度の窯で焼き上げられます。ブランパンは半透明なエナメルを使って流れを描き、透明な水を表現しています。時計の傾斜と光の効果によって、文字盤に刻まれた鯉はエナメルの下に現れます。

貂蟬（ちょうせん）

四大美女のうちの実在した他の 3 人とは異なり、貂蟬は後漢時代の終わりから三国時代の中国を舞台とする小説『三国志演義』に登場する架空の人物でした。西施に続いて紹介するこ

の貂蟬は、自らの両親を死に至らしめた領主に損害を与えるために、自らの魅力を使いました。彼女の美はまばゆく、それに驚いた月は身を隠すほどだったと言われています。

貂蟬をテーマとした文字盤は、ブランパンが卓越した技術力を発揮する赤銅とエングレービングを中心に使って描き出されています。ここでは文字盤の土台に使用されている金と銅の合金の赤銅は、緑青と呼ばれる液体によって処理され、黄昏を想起するブラウン、ブルー、ブラックのシェイドの深い古色を呈しています。伝統的な手法によるエナメル、またはエングレービングで表現されたレッドとイエローのゴールドの象嵌は、マザーオブパールで輝く月の近くで物思いにふける貂蟬に立体感を与えるために使われています。

王昭君（おうしょうくん）

古代中国の四大美女の3人目の王昭君は、前漢時代に生きた女性です。王昭君は元帝の宮女のひとりでしたが、合意の上で、匈奴の支配者である呼韓邪単于の妻となります。彼女の美しさに、飛ぶ鳥もふらついて空から落ちてしまうほどだったと言われています。

王昭君に捧げるタイムピースでは、この美女が自身の部族を離れる様子が描かれています。ブランパンの職人たちは、ゴールドの文字盤にノーブルな木片によるマルケトリ（寄木細工）、グラン・フー“シャンルベ”エナメル、およびゴールドとマザーオブパールへのエングレービングを組み合わせ、雪に覆われた山の風景を再現しました。こうして生みだされたさまざまな素材と色による異なる効果が、手に琵琶を持ち、赤い着物をまとったこの人物の美と勇気を強調しています。

楊貴妃

唐の玄宗皇帝の寵姫であった楊貴妃は、比較的自由に、社会的に平穏な時代に生きた女性でした。この女性は花々が恥ずかしく思うほどの美貌を有していただけではなく、舞踊や音楽にも優れた才能を発揮しました。

ブランパンはこの特別シリーズの最後のタイムピースに、恍惚とした楊貴妃を魅力的でどこか移り気なポーズで描きました。どの色にもエナメルが使用されているため、文字盤は何度も焼き上げられました。このような作品の制作では、絵を施す表面の準備に始まるさまざまな工程が必要となります。絵付けを行うための土台を作るには、文字盤のゆがみを避けるため、ゴールドの文字盤の両側に薄くエナメルを塗る必要があります。それを丁寧に研磨し、完全に滑らかで平らな表面を作ると、絵付けの準備が整います。

古代中国の四大美女に捧げるこの特別シリーズの4モデルは、文字盤に装飾を行うのに理想的なサイズである、直径 42mm のレッドゴールド製ケースが採用されています。芸術性に溢れるこれらのタイムピースの心臓部には手巻きムーブメント、キャリバー13R3A が搭載され、8日間のパワーリザーブを誇ります。サファイアクリスタルのケースバックを通じてうかがえるコート・ド・ジュネーブ、ブリッジに手作業で施された面取りなどの仕上げには、文字盤の装飾に劣らぬ緻密さを見て取ることができます。